

授業科目名 (英訳)	人体の構造・機能と病態 Structure, Functions and Pathology of the Human Body				担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 教授・千葉 勉					
配当学年	1 回生	単位数	2	開講年度 開 講 期	H27 後期	曜時間	木/2	授業形態	講義	使用言語	英語
<b>【授業の概要・目的】</b>											
人間の生存を考える上で、人体の成り立ち（構造）と働き（機能）およびそれらの異常（病態）を知ることが、生物としてのヒトを理解するために重要かつ不可欠である。本科目においては、人体の構造と機能ならびにそれらの破綻によって生じる様々な病態を講述し、ヒトの生理と病態についての理解を深める。随時、課題演習や討論を行う。											
<b>【到達目標】</b>											
人体の構造と機能、さらにその異常によってもたらされる疾病について幅広く、横断的に、かつ可能な限り専門的に理解する。その上で、疾病を予防する方法を医学的のみならず社会的見地からも考察できる能力を身につける。さらにわが国並びに国際的な医療・健康・福祉問題について思考できる能力を修得する。											
<b>【授業計画と内容】</b>											
【第 1 回】 人体の構造（1）											
【第 2 回】 人体の構造（2）											
【第 3 回】 人体の構造（3）											
【第 4 回】 脳、神経系の機能と疾病											
【第 5 回】 内分泌系の機能と疾病											
【第 6 回】 循環器系の機能と疾病											
【第 7 回】 呼吸器系の機能と疾病											
【第 8 回】 消化器系の機能と疾病											
【第 9 回】 腎臓の機能と疾病											
【第 10 回】 血液・免疫系の役割と疾病											
【第 11 回】 生殖器系の役割と疾病											
【第 12 回】 小児の身体の特徴と疾病											
【第 13 回】 がんとは何か											
【第 14 回】 老化現象と疾病											
【第 15 回】 総括討論											
<b>【履修要件】</b>											
特になし											
<b>【成績評価の方法・観点及び達成度】</b>											
レポート、討論と試験、及び出席状況により評価する											
1) 3 回以上授業を欠席した場合には、単位を認めない。											
2) レポートは全回提出を必須とする。											
3) 独自の工夫が見られるものについては、高い点を与える。											
<b>【教科書】</b>											
講義資料を配付するとともに、関連資料を指示する。											

**[参考書等]**

随時参考書や文献を紹介する。

**[授業外学習（予習・復習）等]**

授業外学習：1）病院、診療所、厚労省諸施設見学等

2）各授業に関連した学習（予習、復習）についてはその都度指示

**[その他（オフィスアワー等）]**

総合生存学の基礎となる内容を文系学生にもわかるように講述する

授業終了後の question、appointment： [chiba@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:chiba@kuhp.kyoto-u.ac.jp)